

Title	貧国論
Sub Title	
Author	堀切, 善兵衛
Publisher	三田学会
Publication year	1911
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.5, No.4 (1911. 10) ,p.411(63)- 441(93)
JaLC DOI	10.14991/001.19111020-0063
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19111020-0063">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19111020-0063</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 貧 國 論

堀 切 善 兵 衛

アダム、スミスの富國論は千載の下尙ほ學者論客の推稱して措かざる一大著述たるは今更ら云ふまでもなし、英國民が此著述に依り如何ばかり其經濟思想を養成し、其經濟財政方針に如何に偉大なる影響を與へたるや之れ亦吾人の喩々するを要せざる所にして今日英國の富強宇内に冠たるは何人よりもスミスに其功を歸せざるを得ざる可し、吾人は我國現在の財政難を目撃し、國民經濟發展の極めて遅々たるを見るに付けてもアダム、スミスの如き一大經濟學者の出現を驥望せざるを得ず、然も吾人の此希望は容易に充たさる可き模様もなく、國民の負擔は日に月に累積するのみにして五千萬同胞中の多數は年一年生活難を感じ都鄙至る所に民に菜色あるを免れざるが如し、是れ吾人の貧國論ある所以にして要は其貧國の原因を研究して成る可く之を社會の外に放出し以て多少にても國富の増進を期

64 し、國民の生活をして今少しく向上せしめんと欲するに在り少くとも我國民の多數をして menschenwürdige dasein を得せしむるに在り、然も吾人を以てミスに比せんか天地霄壤の相異も尙ほ愚かなる可し之れ亦題して富國と云はずして貧國論と稱する所以なり。

## 二

今年は歐洲諸國各地に労働者の騷擾頻出したり、即ち英佛西澳の諸國之にして短日月の間に斯く至る所に大規模なる労働界の紛擾を見たるは珍らしき事實たるを失はざる可し、而して之れが原因を尋ぬるに或は今年は歐洲を通じて暑氣非常に高かりしことの如きも其一たらざるを保せず例へば倫敦に於て去る八月労働者が大會を催してストライキの決議を爲したる其當日は今年中の最も暑氣高かりし日なりと云ふに依り考うるも暑氣が人々をして正則なる労働を厭はしむるに至り兼て人心を暴びしめたるは想像するに難からざる所にして、彼の熱帶の蠻民は一般に殺伐猛烈の氣性を具うるも寒帯に居住する蠻民には斯る性質のものなきの事實、もしくは同じく歐洲に國を構ふるに拘らず伊太利人の如きは非常

に粗暴にして短氣なるに反し英國人が寛容の氣風に富めるが如き、主として氣候の關係より來る所なるを以て見れば今年歐洲各國に於て労働者の同盟罷業もしくは暴動等の頻繁なりしは非常の暑氣が與て力ありしと云ふを得可きが如し、或ひは又英國の如きは近年永く政界の懸案たりし上院改革案も遂に自由黨政府の勝利に歸して貴族富豪輩が平民の意思に従ふの外なき破目に陥りたる事實の如き確かに一般労働者等に無形の勢援を與へたることなる可し、就中藏相ロイド、ジョージ氏が一昨年來各地に遊説を試みて自家の主義政策を鼓吹したる其演説中には議論堂々反對黨をして顔色なからしむる概あるもの少なからざりしと雖も併も時に或は英國の國土は農民の爲めに天帝の備へ給るものにして貴族狩獵の目的たる鳥獸の爲めに作られたるに非ずと稱し、或は社會の一方には衣食の資に窮する unemployed の存すると同時に他方には飽食暖衣戸位素餐の unemployed も存せりとして盛に富豪社會を攻撃したるが如き確かに労働者輩の喜ぶ所となりしや疑なく、既に政治上に於て貴族富豪に對し一大勝利を博したる以上は經濟上に於て亦其主張を貫徹する能はざるの理由なしとの信念を高めたるに相異なる可く、

將た彼のトリード・ユ・ニオンの勢力年々増進して其資金の如きも巨額に達するに至りたれば従て労働者の自信を強めたるが如き事實も有るならんと雖も然も歐洲各國を通じて此等労働社會の紛擾の主因となりしものは依然として生活費の問題たるや云はずして明かなる可し。

果して然らば元來歐洲文明國の労働者は幾千の収入を以て其生活の必要費となすやと云ふにそは國に依りて異り一概に論斷するを得ざるや勿論なり然れども極めて大體の計算を以て甘んずれば敢て之を知るに難からずと云ふ可し而して先づ其判斷の材料となす可きは各國にて定めたる Steuerfreiheit の標準なれども然れどもこは常に必ずしも生活の最少限度を定めたるものと見る能はざるや論を俟たず何となれば國家は必要止むを得ざる場合には人々の生命もしくは最後の一錢をも徴收するを得る次第なれば縱令人民生活の最少限度内に立入ると雖も尙國家の必要上其課税を敢てするを妨げざればなりされば獨逸聯邦内の小邦中には百五十圓まで課税するものあり(Gotha: Lippe; Schwarzburg-Sonderhausen等)二百圓まで課税するものあり(Sachsen: Oldenburg 等然れども一年僅々百五十圓若くは

二百圓の小収入を以て一家を支ふる能はざるや疑を容れず同時に英國の如きは千六百圓を以て Steuerfreiheit の點と定むと雖も如何に英國なればとて之れ以下に一家を支へ人間らしき生活を送る能はざるの理由なし従て以上の如きは寧ろ例外として他に其標準を求むるに普漏西は四百五十圓と定め奥地利は五百圓と定めあり而してこは英國各地の労働状態を視察して其結果三人の小供を有する一家に取りて各週廿一志八片即ち略年五百三十圓の収入は必要缺く可からずとの決論に達したる T. S. Rowntree 氏の計算に略ぼ接近し同時に英國労働者の一家族の収入は毎週二十一志以下のもの頗る少なきの事實に依て見れば歐洲諸國に於て三人の小供を養ふ一家の収入は年五百圓前後を有するに非らざれば menschlich-enwürdige dasein と稱す可からざるが如し英國 Board of Trade に於て調査して労働者の収入左の如し

每週收入

平 均

回答人數

25 志以下ノモノ

21 志 44

261

25 志以上 30 志ノモノ

26 志 114

289

30 以上 35 以下	31 冊 114	416
35 〃 〃 40 〃	36 冊 64	382
40 以上	52 冊 64	596
計		1,944

Report of an enquiry by the Board of Trade.

然れども労働者は獨り生活の必要費を得たればとて之に満足せざるは勿論にして多々益々其勞銀の増加を希望して止まざる可し、從て恐らくは労働者の同盟罷業は其生活程度の上進すると共にいよく盛ならんとも減少することなかる可し、但し吾人の此處に研究せんと欲するは同盟罷業の問題に非ずして生活必要費の點に在り。

三

歐洲文明國に於て一家族が人間らしき生活を送らんが爲めには略ぼ年五百圓の收入を必要とすることは前述せる所の如し、然らば我國に於ては幾千の額が國民生活の必要費なりやと云ふに之は極めて困難なる問題なり、然れども茲に吾人

は二個の點に付きて殆んど疑を挾むの餘地なきを信ず、何ぞや

一、我國民が日本に於て歐洲人と同一程度の生活程度を保たんとせんか英國其他に於てよりも多額の收入をこそ必要とすれ決して少額にては足らざる可し、試に肉類鶏卵瓦斯電燈等生活の必需品にして其物質に彼我大に差異なきものを取りて比較せんに我國に於て概ね不廉なり其他の物價に付て考ふるも西洋諸國に於て生産の技術大に進歩し金利安く機械の利用盛にして大規模に生産するが故物品は廉價に供給せられ得る道理なり、然るに我國に於ては單に勞銀の低廉なる有るのみにして自餘の生産條件に於て總て歐洲に劣るが故勞銀に得る所は他の方面の不利益を補ふに足らずして同一物品ならんには我國にては多く高價を支拂はざる可からざる理由あり、即ち英國に於ては人間の勞力は高價なれども物價は安く我國は人間安くして物價の高きを知り得可し。

二、日本國民多數の收入は年五百圓に達せず、此事實は何よりも明かに所得納稅者の少なきに依りて之を知り得可き次第にして昨年我第三種所得稅納稅人員は百二十三萬千四百六十七人第一種所得納稅人員七千二百三十五人合計百二十三

70 萬八千七百六十二人を出でず他は三百圓以下の所得すらなき者なり、尤も我國民中には實際に三百圓以上の所得あるに拘らず脱税しつゝあるもの少なからざる可く又其所得額をば實際収入よりも少額に申請するもの有る可きを以て此等を總て計算に入れたるものと假定し今日の納税者は悉く五百圓以上の収入あるものと見做すも尙其人類は百二十三萬を越ゆること幾干もなき次第なれば若しも歐洲人の所謂人間らしき生活と見做しつゝある其生活の標準を以て我國民を律せんか比々として皆鷄鶩と食を争ふの輩なりと云ふを得可し、試みに農商務統計表に就て一覽せよ我國の労働者中一日平均一圓の勞銀を得能ふもの果して幾種かある、將た下級官公吏、會社銀行の雇員、査公の收入等に就て一考せよ、其收入の僅少なる其生活状態の憐れなる寧ろ驚く可きばかりにして彼等が能く一家を構へ數人の子女を養育して尙ほ相當に其日を送りつゝあるが如きは寧ろ不思議と思惟するの外なきのみ、

然りと雖も彼等が今日の生活状態に平然自若たるは元と止むを得ざるが爲めして其平然自若は決して満足したる結果に非ざるは言を俟たず、彼等の或者は

或は唯習慣に捕へられて満足しつゝあるも有る可し、然れども國民の智識は日に月に進歩しつゝあり、文明の發達と共に新たなる需要生じ子女の教育はいよゝゝ必要を増し昔日の奢侈贅澤視したる所の物も今日の必需品と化する時代に在りては彼等と雖も到底現在の収入と其生活状態とを以て満足せざる可きや必せり殊に内外往來交通の年を逐ふて盛なるに従ひ泰西先進國の風俗習慣にして我國に流入するものいよゝゝ盛なる可く國民の生活状態も日にますゝ西洋の夫れに近接せんとするの傾向あるは明白にして昨年に於ける日英博覽會若くは來る五十年の大博覽會の如き益々内外風俗習慣の近接を促し、國民の生活状態に新生面を開くに與つて力ある可きは疑を容れざる所なりと云ふ可し、即ち労働者は西洋の労働者の如く多額の勞銀を欲し査公は泰西の査公の如く學者は泰西の學者の如く夫れゝゝ多額の収入を得て其生活状態を改良し以て一等國民として愧かしからざる生計を營まんと念盛なるに至る可きは之を想像するに餘り有りと云ふ可し、

71 然も一方を顧れば國富は國民の智識と共に増加せず、各人の收入は其需要の徒

72 然らば勃張するに拘らず増加する能はざる可きは之れ亦想像するに難からざる所にして其曉に至らば國民の生活難はいよ／＼痛切に感知せられざるを得ず、換言すれば我國民は既に今日に於て生活難を感じつゝあるは隠れなき事實なれども將來層一層の壓迫を告ぐるに至らんこと吾人の信じて疑はざる所なり、

## 四

果して然らば此壓迫を防ぐの策如何と云ふに經濟學の原則に従ひ二途の一を出でざる可し、即ち一は國民の生産額を増加して national dividend を多大ならしむるか但しは二物價を務めて低廉ならしめ以て僅少の金錢所得を以て多大の需要を満足せしむるの外ある可からず、各人の所得は一國の生産總額の多少に依りて相異なるは明白なる道理にして National Dividend の夥多なる國に於ては縦令直接生産事業に關係せざる人々と雖も尙ほ多額の所得を保證せらるゝは言を俟たず、但し國富政で多大ならずとするも物價にして低廉ならんか其國民各人の所得は少なしと雖も、之を以て比較的に幸福なる生活を送ること難きに非らず、例へば英米兩國を比較するに英國労働者の勞銀を一〇〇とすれば米國労働者は二三〇の割

合なり、然も食物及び家賃に於て米國労働者は英國労働者に比し五二%の費用を餘分に負擔せざる可からざるが故實際兩者の相異は七十八%に過ぎざるが如し S. R. Askwith: Prefactory note to the Report of an enquiry by the Board of Trade, (U. S. A.) 而して英國労働者は獨佛諸國の労働者に比し其收入の比較的大なると同時に物價は英國に於て却て低廉なるが爲めに生活上に少なからざる幸福を感得しつゝあるは云ふまでもなき所にして苟も國民の所得俄に増加するの不可能なる限りは出來得る限り物價を低廉ならしめ以て其生活に餘裕を感せしむるの策を取らんか國民は尙ほ幸福に生活するを得可きなり、然るに我政府當局者從來の施設經營もしくは經濟財政上の主義方針が凡て以上二個の方法に反對するが如き形あるは何故ぞや、即ち政府は一方に於て國民の生産額を増加せしむるに必要有益なる施設機關の如きは甚だ之を等閑視して巨億の其歳入をば専ら不生産的事業に投じつゝあるに非ずや、又獨り政府財政の都合をのみ計りて民間の經濟状態を犠牲にして顧みず、同時に誤りたる産業政策に固執する其結果、物價をして日に月に騰貴せしめつゝあるは何事ぞや、吾人は此二個の點に關し更らに細論するの必要を認むる



74 ものなり、何となれば此點に關し政府の誤想を正し、國民をして今少しく經濟上の事實に關し注意を深からしむるに非ざれば今日の貧國は何時までも其窮境を脱する能はざる可ければなり。

## 五

吾人は我政府が國民の生産額を増加せしむる爲めの經濟的施設を等閑に附しつゝあるを論じたり、然れども吾人は今日の我政府が何等經濟的事業を經營せずと云ふものに非ず、吾人は民間の事業をまでも奪取して自家自ら之を經營せんと欲するは我政府の惡弊なりと認めざるを得ず、即ち彼の鹽專賣、煙草專賣、鐵道國有製鐵、製材の官營等其例なり、然れども吾人は政府が此種の事業に従事しつゝあるの事實を稱して國民の生産及び分配額を増加するものとは信するを得ず、換言すれば一國の經濟上此種の政府事業は寧ろ損ありて益少なきを恐れざるを得ず、製鐵及び製材業に於て政府が年々損失を招きつゝありたるの事實は今更ら茲に之を贅せず、又食鹽、煙草の專賣の結果として其代價が二倍三倍に引上げられ國民の消費力を減殺したるの事實に就て亦之を問はず、然れども比較的價の騰貴をも

75 伴はず又損失をも招かざりし鐵道國有の結果に至りては果して如何、吾人は國有の實行せられて以來國內に起り得可かりし新線路の布設を妨害したること實に少からざるを認めざるを得ず、若しも昨年もしくは一昨年の如き金融の緩漫を極めたりし時に民設鐵道の計畫自由なりしならんには各地に鐵道事業の計畫せられたるもの實に多大なりしを疑はず、併かも鐵道國有の結果此種の計畫は殆んど其跡を斷つに至れり、即ち爲めに交通機關の普及を妨げ生産界の原動力とも稱す可き運輸事業の發達に寧ろ大打撃を與へたるものと云はざるを得ず、然らば一方に鐵道院自らが奮て大に新線路の普及但しは廣狹改築の如き事業に着手したるやと云ふに政府に其意なきに非らざりしが如しと雖も一方に財政當局者は四分利借換と稱するが如き一大投機を試みて美事失敗に終りたる其結果將來に必要な資金の調達にも差支を生じて今や殆んど手も足も出でざる有様なるに非ずや、廣軌改築の如き容易に行はる可からずとして、然らば既設線路の改良は如何と云ふに之れ甚だ不充分にして彼の新橋神戸間の線路を以てして尙ほ毎年一二回は必ず洪水の爲めに不通の箇所を生ずるの不體裁今に改まらざるに非ずや、斯の



如くむば鐵道國有は國民經濟發展の上より今日の所殆んど何等の價值だになく寧ろ新線路布設の民間計畫を不可能ならしめたる其損害多大なりと云はざるを得ざる可し、されば鐵道國有も今日の儘にては叶ふ可からず、政府は如何様にもして運輸交通機關の普及改良に努力する所なかる可からず、吾人は之を以て我國民經濟の發達を期するの上に於て最も肝要なりと認むるに躊躇せざるものなり。

## 六

次に政府は國民が折角生産し上げたる、若くは其生産の中途に在る物資を徒らに滅却せしめつゝあるを防ぐの工夫最も肝要にして例へば我國に於て年々水害の爲めに蒙る損害は二千萬圓乃至三千萬圓を下らず、昨年春期の如き單に東京府及び東北關東の十二縣のみに於て尙二千五百萬圓の損害を見たり而してかゝる大水害は必ず十年に一度は我國を襲ふ次第にして其損失を累算すれば實に莫大の額に達す可し、同時に火災の爲めに我國が年々損害を招くこと亦水災に劣らず、日本火災保險協會の計算に依れば

明治三十六年より四十一年に至る六年間燒失家屋

戸數、二一三、六六〇戸、建坪四、六〇六、六三二、

明治二十六年より十六年間の平均は一年三萬五千餘戸に達し家屋以外の動産損害を合算すれば一年の損失は三四千萬圓を下らざる可しと云ふ。

我國民の所得は極めて少なきに加へて年々水火の爲めに國富を滅失せしむること斯の如く多大なるを以て勢ひ國富の蓄積は遅々たらざるを得ず、されば此種災害の禍根を杜絶するは又貧國の境遇を脱却せしむる所以なれども如何にせん我政府が治水事業の爲めに費す費用の如き極めて少額にして従て治水方法も亦姑息に流るゝを免れざるより洪水の害はますます多大ならんとするの傾向あり殊に文明の進歩人口の増加と共に昨まで放却して顧ざりし土地も開拓せられ山間谿谷其他沿岸危険の地と雖も尙人家を作り住居を定むるの常なるを以て一朝の水害に依つて蒙る國家の損失も亦多大ならざるを得ず、火災の損失に至つては水害の如く治水事業の如き根本的方法に依りて之を豫防する能はずと雖も然も防火機關を完全ならしめ同時に建築材料を選択せしむるに於ては現在の如く多額の損失なくして止む可きは想像するに難からざる所にしての彼東京大阪若く

78

は青森の如き大火が文明國の大都會に頻々續出し住民の大半が一朝の祝融の爲め飢餓の慘狀に陥るが如き實に國民の耻辱と稱せざるを得ざる可し、我輩は此等の點に關し今日の政府及び一般國民が餘りに無爲無能なるを慨せずんば非ざるなり。

然らば港灣の修築、水陸聯絡の完成の如き之れ亦國民經濟の發展上極めて必要なる事業たるや云ふまでもなき所なるが、此種の事業に政府は十分其力を盡しつゝ有りやと云ふに決して然らず、現に横濱神戸は我國の二大要港なれども水陸の其設備は今尙極めて不完全の状態に在るを免れず、此點に付きては寧ろ臺灣の基隆港の如き進歩せる有様にして現に六千餘萬噸の大汽船が岸壁に横附けにせらるゝを得可く又總督府は其停車場の位置をも變更せん計畫にて着々事業の進捗を計りつゝある次第なれば遠からずして歐米諸國に實行せらるゝが如き水陸の聯絡は臺灣にも之を見るに至る可し、然る内地に於ては横濱神戸尙且つ今日の有様なれば其他は殆んど云ふに足らず、元來政府當局者の計畫は存せざるに非ざるも其規模餘りに狭少にして且つ事業進捗の遅々たるは吾人の遺憾に耐へざるなり。

なり。

鐵道の普及改良港灣の修築治水事業の完成等の點に付政府の爲す所誠に姑息小仕掛けにして殆んど兒戯に類するもの有りとするれば、然らば政府は他の方法に於て大に國民經濟發展の基礎を作るに務めつゝ有りや如何例へば獨逸に於て早くより既に實施せられ近時英國に於ても一部の實行を見たる労働保險の如き一國民の Industrial efficiency を増加するの點に於て多大の効果あるは隠れなき事實なれども我政府に於て未だ此種の計畫あるを聞かざるに非ずや、近頃農商務省は小口保險實施に意あるものゝ如く種々其調査を遂げつゝ有りたりと傳へらるゝも之れ労働保險とは全く性質を異にする所にして政府の目的も主として零細の資金を蒐集して以て其財政の遺練算段に資せんとするに外ならざるが如し、然らば更らに又政府は化學工藝の研究發達の爲めに大に盡しつゝありやと云ふに是れ亦然らず、獨逸帝國の如き皇帝始め此種の事業に多大の注意を寄せ國家も亦費用を惜まず學者研究の便宜を計りつゝあるが爲め新發明發見の如き陸續として現はれ遂に獨逸は化學工業の進歩世界に冠絶するに至り人々之れが爲めに産を起

79

80 し財を蓄へたるも實に少なからずと雖も翻て我國の有様を願ればかゝる方面の事業に對しても政府が格別其注意を厚ふしつゝ有りとも思はれざるなり斯の如く算し來れば政府が國民經濟發展の爲めに施設する所極めて少なきは之を想像するに難からざる可し。

## 七

我政府が國民經濟發展に資する爲めに努力する所少きの事實は之を述べたり、然るに他の一方に於て國內の物價を騰貴せしめ以て國民の生活を困難ならしむる爲めには實に少なからず其力を用ひつゝあるの形跡歴然たるもの有り、之れ貧國のますく貧ならざるを得ざる原因にして試に日本銀行の調査に従ひ去る三十三年十月の物價平均相場を百として今年七月の相場と比較せんに米、麥、大豆、味噌、茶、醬油、木炭、石炭等必需品二十三品の平均相場は一四一即ち四割一步の騰貴を來せり、就中砂糖及び鹽の如きは最も著しき騰貴を來し前者は二〇六後者は二四四に上騰し其他多數物品は二割乃至三割の騰貴を示せり、而して之れが原因を尋ぬるに吾人は先以て租税の増徴及び專賣價額の引上げを擧げざるを得ず、凡そ内

國に於ける租税が殆んど其租税の全額まで物價を騰貴せしむるは多く想像するに難からざる所にして彼の酒煙草の如き増税と專賣價格引上げとの爲め戰前に比し非常なる市價の相異を來せるは怪むに足らずと云ふ可し、又彼の砂糖の如き今日殆んど市價の半ば以上は租税にして斯る重税を課せられたる砂糖が其味の甘きは寧ろ不思議にして砂糖を以て一種の贅澤物視したる時代は早く既に過ぎ去りて今日に於ては生活の必需品として何人も疑を挾むの餘地なきに拘らず尙かゝる重税を課するは大に不可なりと云はざるを得ず、此他或は所得税、營業税通行税、三惡税等或は加重せられ或は新設せられ之に專賣價の引上げ手数料の引上げ等を加算すれば人民の掌中に在る可きものにして戰後政府の掌中の歸することとなりしもの毎年約二億に達し唯に直接人民に苦痛を與ふるのみならず物價騰貴の形式に依りて間接に國民を苦むること實に多大なるもの有るや疑を容れざる可し。

81 而して此方面より來る物價の騰貴は唯に今日の現狀に止らず今後も尙大に騰貴す可き理由あり、何となれば去る七月中旬よりいよく新關稅定率法は全部施

82 行せられて我關稅稅率は舊來に比し頗る加重せられたるを以てなり、勿論英佛獨諸國との協定に依り國定稅率より輕減せられたるもの少なからずと雖も、尙ほ從來に比すれば頗る高きに在るや明白にして昨今は非常なる見越輸入ありたる結果吾人は尙新稅を負擔せざる輸入品を消費しつゝある次第なれども此見越輸入を消費し盡したる曉には新たに高價の物品を使用せざる可らざるに至るや必せり、而して彼の米穀輸入稅の如き從來每百斤六十四錢の稅率なりしさへ已に不當なるに新たに之を一圓に増加したるが如き實に愚劣極まる者と評せざるを得ず、吾人は今年所謂米の買入運動起りて國民は米價の騰貴に困難を感じたるが如き畢竟米穀輸入稅の賦課以來一般國民をして外國米を消費するの習慣を喪失せしめたるが爲め一旦内地米に暴騰を來すことあるも俄に外國米を以て之に代用するを得ざるに由るものと推察せざるを得ず、而して今日の現狀を以てすれば米買入が我國に於て必ずしも失敗に終る可しと想像する能はざるを悲むなり、同時に新關稅法は鐵類機械類の如きにまで保護稅を課して一國生産の原動力の輸入を阻止せんと試みたり、殊に此等の物品は歐米諸國より幾千哩の距離を隔て、多額

の運賃を支拂へて我國に輸入せらるゝ次第なれば是れのみにては機械類は略一割、銑鐵の如きは略四割の保護を蒙る次第なるに尙其上に輸入稅に依りて其製造工業家を保護せんと企てたるは大なる愚策と稱せざるを得ず。

八

83 物價を騰貴せしめたる第二の原因は通貨の膨脹に在り、試みに日露戰爭以前三十六年末と今年の六月末との通貨を比較せんに金貨紙幣及び補助貨の合計前には三億三千百萬圓に過ぎざりしもの後には五億二千八百萬圓に増加したり、即ち約二億圓の増加にして我經濟界の實力發展して此結果を見たるならんには實に喜ぶ可き次第なりと雖も事實は却て然らずして戰爭の終局に際し我政府當局者は軍隊の引上げ其他戰後終末の費用として必要以外の外債を募集し、之を所謂政府の在外資金として外債の利拂もしくは爲替資金の決済に供したり、而して此資金の減少する度毎に政府が或は公債の借換或は滿鐵社債の募集近くは東京市の電車なども利用して必要以上の外債を起し又は起さんと試みて其募入金を保有し一方日本銀行をして此在外正貨の一部を引當てに兌換券を發行せしめつゝ有

りしを以て國內の通貨は收縮せらるに由なく却てますます増加するの一方ありしのみ、而して此在外正貨の存在に關しては可否の論區々たりと雖も今之に論及するを避け吾人は單に通貨勃脹の原因力が不自然なりし理由として之を指摘するに止めんとするものなり。

尙一々其物品に就きて之を論せば以上の外尙物價騰貴を促したる原因の存す可きや明白なりと雖も吾人は以上の二理由を以て一般的大原因と認めざるを得ず、斯の如くにして一方には産業發展の根柢を培ふことを爲さず徒らに物價の騰貴を促すのみなれば國民の資力給せず、事業起らず、輸出振はずして獨り生活難のますく加重せんとするは決して怪むに足らずと云ふ可し。

## 九

果して然らば何故政府は斯の如く經濟上の施設經營に不熱心にして爲めに國民經濟の發展を促進する能はざるや彼の泰西諸國の實行しつゝあるが如く或は運輸交通の完成を計り水陸聯絡を便利ならしめ或は化學工藝の發達を獎勵しもしくは勞働保險を實行し或は治水事業の完成を期し或は國民をして防火の方法

を講せしむるが如き積極的政策に出でざるや將た何故に政府は自家財政上の都合をのみ計るに急にして其遺算段の爲めに國利民福を犠牲にし國民の生活を困難に陥れて意と爲さざるやと云ふに我輩の見る所を以てすれば一大原因の存する有りて常に政府をして其命令に従ふの止むを得ざるに至らしむるに依るものゝ如し、他なし海陸軍の壓迫即ち之にして今日日本國民の所得極めて僅少なるの事實は既に論述したる所の如しと雖も我政府の所得其物に至りては決して少なしと云ふ可からず、即ち今年度に於ける政府の歳入總額は略五億四千萬圓にして我毎年の輸出總額よりは遙かに大なり、政府の歳入が國民の輸出總額より多額なるは世界の強大國中唯露國と我日本とを算するのみにして英米佛獨伊の諸國に其例を見ざる所なり、即ち我政府は國力不相當の歳入を有するの事實明白なれども然れども此多額の歳入は如何なる方面に使用せられつゝあるやの點に付一考せんか吾人は更らに悲む可き事實を發見せざるを得ざるなり、即ち我國に在りては政府歳入の大部分は軍事費と國債費とに使用し盡さるゝ次第にして一般行政費として殘存する所極めて少なきの事實之なり、換言すれば政府が如何に經濟

的施設經營に志し國力涵養の手段を講せんと欲しても日露戦役の亡靈たる二十五億の内債と飽くことを知らざる海陸軍の誅求との爲めに掣肘せられて到底他の方面の急務に應ずる能はざるの有様に在り、今大藏省の調査に依りて之を見んに、

歳出合計に對する軍事費、國債費、行政費、百分比例表

	軍事費	國債費	行政費
三十五年	二九、六五	二六、九九	四二、三六
三十六年	三三、四五	一五、五六	五〇、九九
四十年	三四、四九	三〇、一二	三五、三九
四十一年	三四、三二	二九、五九	三六、〇九
四十二年	三三、九四	三一、一七	三四、八九
四十三年	三一、一五	三二、七九	三六、〇二
四十四年	三四、九一	二九、四七	三五、六二

(明治四十一年度以前は決算、四十二年度は現計、四十三年度は決定豫算四十

四年度は提出豫算額とす)  
 更らに歳出經常部に對する百分比例は左の如し、

	軍事費	國債費	行政費
三十五年度	三五、二一	二五、〇一	三九、七八
三十六年度	三五、八六	二一、四九	四二、六五
四十年度	二三、一二	四四、八四	三二、〇四
四十一年度	二七、八六	四四、七二	二七、四二
四十二年度	二九、二九	四〇、七七	二九、九四
四十三年度	三〇、〇五	三八、八二	三一、一三
四十四年度	三一、七二	三七、七六	三〇、五二

即ち戦後我總歳出中行政費として三割六分以上を計算せられたること之れなき次第にして之を列強の行政費支出割合に對照すれば果して如何と云ふに、

	日本	英	佛	獨	露	米
	三六、〇二	四二、〇四	三九、七三	五一、二三	五九、八五	四四、九二



伊	四九、二〇	西	四一、一二	和	五八、二一
白	六〇、四三	日本以外平均	四九、六		

日本以外九箇國の平均四九六にして我國の標準よりは遙かに高く同時に我國の如く僅少なる割合を以て一般行政費に宛てつゝあるの國は現今の文國明中國も之れなきを知る可し。

(右表中日本は四十三年度英獨伊は千九百〇八年其他の諸國は千九百〇九年の豫算に依る)

次に各國歳出の一人當負擔額を比較せんに左の如し

日	一〇、五五八	伊	二三、七九九
英	三三、七八一	西	二〇、四九二
佛	三九、一七一	和	二八、一二九
獨	二一、九五二	白	三二、七三一
露	一七、六一八		
米	一九、六三七		

右表に依れば我國民の一人當歳出負擔額は一番少額なりと雖も然も各國民富力の相異に想到せば我國民の負擔が實に高きに居るの事實を知るに難からず、試みに英佛獨米伊諸國の輸出入一人當平均と我國人の夫れとを比較せんに大略左の如し。

英人	二二五	佛人	一一七	獨人	一一六
米人	七八	伊人	五六	日人	一八

即ち英人は吾人の十倍以上の富力を以て三倍餘の負擔をなし佛獨人は六倍以上の力を以て三倍八分及び二倍餘の負擔をなし米人は四倍の力を以て二倍に満たざる負擔をなし伊多利人は三倍餘の力を以て二倍餘の負擔に當るに過ぎざるを知る可し、勿論輸出入額に依りて國民富力の正確なる標準と認むる能はざるは論なく合衆國の如き自足自給政策國の貿易額は其國力に伴はざる可きは之を想像する難からざる所なりと雖も、大體の見當は之に依りて定め難きに非ず、又以て我國民が如何に民力不相當の負擔に任じつゝ有りやは多く疑ふの餘地なかる可しと信ず。

90 更らに軍事費に於て我國は總歲出の三一、一九なるに以上諸國の中英國は三八、七九を割き獨逸は四三、二七を割き合衆國は四五、〇七を割きて此三國のみは我國の割合以上に軍事費を使用しつゝ有れども然も此三國こそは國債費に於て極めて少額を割けば足るが爲めにして即ち英國は之に一八、一七獨逸は僅々五、六〇合衆國は一〇、〇一を割くに過ぎず斯る餘裕の存せざるに尙ほ多大の軍事費を支出し爲めに一般行政費を甚だしく少なからしめつゝあること我日本の如きは他に其類例を見ざる所なり。

## 一〇

我政府が今日軍事と國債の利子拂以外のことに殆んど手も足も出でざるは以上の諸表に依りて之を窺知するに足る可し然るに我國の陸海軍は尙ほ今日の割合を以て満足せず年々歳々苟くも國庫に多少の餘裕を生ずること有らんか必ず之に對し其手を延さずば止まざるなり否餘裕の有無は彼等の敢て問ふ所に非ず、無きものまでをも無理算段を講せしめて之を奪取せんと待構へ居る有様なり即ち今日朝鮮に陸軍の二箇師團を増設せんとする計畫の如き但しは海軍側が又々

大擴張を云々しつゝ有るが如し然も今日の文明國家に於て國防は單に海陸軍の防備を以て甘んずべきに非らざるは勿論にして彼の敵國外患の恐れたるや大ならざるに非ずと雖も其來るや稀なり然も一方には年々歳々國民の生命財産を奪取し國土を襲撃する恐る可き大敵の存することをも亦覺悟せざる可からず即ち彼の水靈風伯の類一度び其恐りを發するや敵國外患に譲らざる慘害を國家に加へざるを得ず彼の露國浦鹽艦隊の東京近海に襲來するや吾人は聊か不安の念を生じたるに過ぎざりしも昨年の大洪水に際しては市民は確かにより大なる恐怖の念に襲はれたる事ならん此種の敵軍に際し日頃より充分其防備を盡すは之れ亦文明國民の忘る可からざる所なる可し否此種防備の必要の如きは國民の己に充分承知し居る所なるも如何にせん必要なる其資金は悉く海陸軍に奪取する所となりて殆んど何物をも殘さざるは今日の現況なり。

吾人は海陸軍の必要を感ずること何人よりも切なるものなりと雖も然も一切他を犠牲にして此上とも陸海軍の擴張をのみ事とするの甚だ謂れなきを感ずるものなり殊に我國は最近二大戦役を経過して大に武力の點に於て世界に威を振

亦に至りたりと雖も之れが爲めに外國の嫉妬を招くに至りしこと非常なるを知らざる可からず、而して如何に海陸の軍備を充實すと雖も之を動す其資金に窮せんか決して大戦争を爲す能はざるや勿論にして日露戦争の際には幸にして列國間に我國の同情を寄するもの非常に多かりしを以て國內にて調達するを得ざりし巨億の軍資は海外金融市場に於て之を募集するを得たれども近き將來に於て我國が又々一大戦役に従事するが如きこと有らんか恐らく百圓と雖も外國市場に於て借入るゝは困難なる可し、然らば内國市場に於ては如何と云ふに今日の如く民力を枯竭せしめ國富の増加遅々たる有様にては到底多額の費用を一朝事あるに際して調達すること不可能ならざるを得ず、果して然らば徒らに軍備の擴張にのみ銳意するも其軍備たるや唯一種の裝飾物たるに過ぎざる可し、近來獨佛の關係切迫せるに當り獨逸の經濟界が忽ち破綻を生ずるに至りたるが爲め其外交上の掛引に如何ばかり不利益なりしやは世人の目撃したる所にして苟くも經濟上の實力を伴はざる軍備の實際に其役を爲さざるの適例と見做す可きなり。

況んや今日の我國は近き將來に於て他國と戦端を開始せざる可からざるが如

き關係は一も存することなく國民正に此平和を利用して戦後の休養を爲し經濟上の發展に専心銳意なる可きの時たるに於てをや、若し夫れ我國の内治上或は經濟上に經營施設す可きの事業大略整へたるものならんには又格別なれども今日の現狀に在りては此方面の進歩に掛けては列強中我國の如く後れたるは有ることなく國民は今より驅け足を以て進むとも尙先進文明國に及ばざる遠かる可しとは日露戦争の我勇將が現に歐洲に旅行して深く自ら感じたる所なりとして世間に吹聴したる所ならずや、吾人は軍備の擴張と云ふが如き問題は當分國民の念頭より離脱して苟くも將來多少にても國家の歳計に餘裕を生ずるに至りたる限りは之を以て國民經濟の發展に資するが如き用途に之を使用するに務め以て今日歳計分配の不權衡を回復し國力の培養に力を注ぐの急務なるを感ずるものなり、若し夫れ然らざらんか我財政の窮境は遂に脱却するの目なかる可く、政府の遺線算段はますます甚しきを加へて國民はいよ／＼其犠牲たらざるを得ざる可く此貧國は何時までも赤貧洗ふが如けんのみ。